

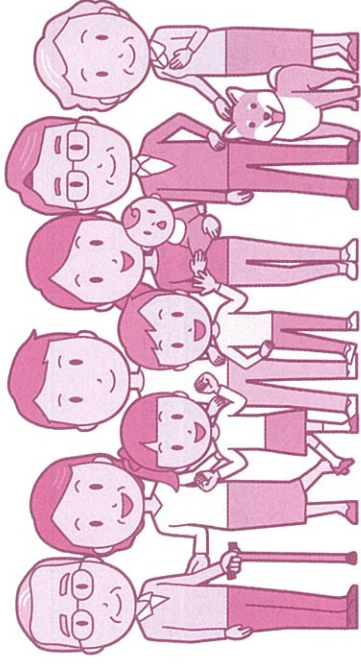
超高齢社会を乗り越えていくために

超高齢社会を乗り越えていくためには、『限られたサービス』と『地域の縁(地域の中心で互いに支え合おうとする気持ち)』を組み合わせることが重要です。

生活支援体制整備事業は、『地域の縁づくり』を目指す全国の取り組みです。高齢者だけではなく、子どもも障がい者も全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、共に高め合うことができます

『**地域共生社会の実現**』を目指します。

『地域の縁づくり』への参加は、自身の**生きがいづくり**や**介護予防**にもつながります！

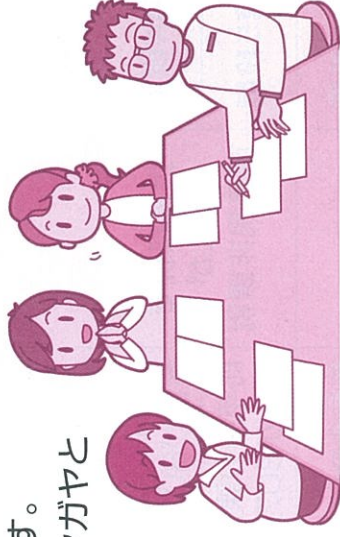


皆さんの地域でも『地域の縁づくり』が始まっています！

稲沢市では、支所・市民センター地区ごとに『生活支援体制整備推進協議会(通称『協議会』)』が設置され『地域の縁づくり』が始まっています。

『協議会』は、地域の皆さんが集まり、ワイワイガヤガヤと地域の困りごとを共有し、課題解決に向けて様々な話し合いが行われる座談会の場です。

地域の皆さんが顔を合わせ、悩みを共有し、共に取り組む過程で『地域の縁』が育まれます。



『**地域の縁**』は、**地域の皆さんが課題解決に向けて取り組む『過程』で育まれます。**一人ひとりがかかります、**自分の地域に関心を持つこと**から『地域の縁づくり』が始まります！

『地域の縁づくり』をサポートします！

稲沢市では、『地域の縁づくり(生活支援体制整備事業)』を稲沢市社会福祉協議会(社協)に委託しています。

社協は、市内9地区に『地域福祉コーディネーター』を配置し、各地区の『協議会』の運営、小学校区や行政区単位の住民座談会の開催、居場所づくり、見守り体制づくりなど様々な『地域の縁づくり』をサポートします。

『**地域の縁づくり**』に関することは、**お気軽に社協までご相談ください。**

【 社会福祉法人 稲沢市社会福祉協議会 本所 0587-23-6713
西部支所 0567-46-4538 】

※祖父江・平和地区にお住まいの方は『西部支所』にご相談ください

稲沢市生活支援体制整備事業 ～地縁再生!支え合いの地域づくり～

超高齢社会の本当の問題

これから迎えるのは、世界初の超高齢社会です。問題は、高齢者が増えていることではなく、『**高齢者を支える人口が減少し続けていること**』です。

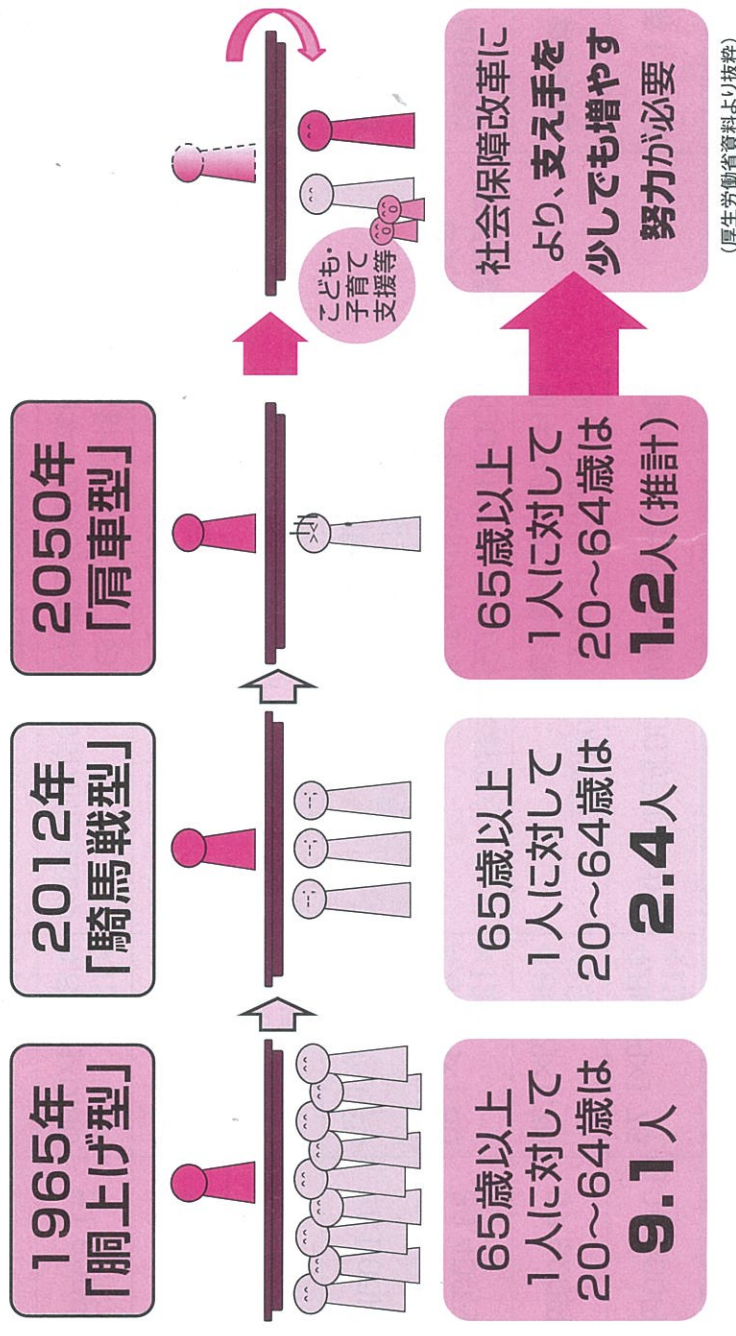
この人口減少に伴う『**介護サービスの担い手不足**』と『**社会保障の財源不足**』が**超高齢社会の本当の問題**です。

下の図は、高齢者を支える人口の推移です。今後、急速に高齢化が進み、やがて『1人の若者が1人の高齢者を支える』という社会が訪れることが予想されています。

まずは、私たち一人ひとりがこの現実を真剣に受け止める必要があります。

この問題は、行政だけでは解決できません。地域の皆さんと行政が協働し、知恵を出し合い、それぞれの役割を果たすことが重要です。

これから世界初の問題に挑みますが、みんなと一緒に乗り越えていきましょう！



高齢者が支え手に回ることは、『生きがいづくり』や『介護予防』にも繋がるんだね！

